

主な内容	
一般質問(代表・個人)〔要旨〕	2~5面
予算特別委員会審査概要	5面
委員会の活動状況	6面
予算に対する各会派の意見	7面
議案等の概要と結果	8面



代々木公園 初夏

令和2年度各会計予算額

区分	令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	増減率
一般会計	1,052億4,900万0千円	923億9,500万0千円	13.9%
国民健康保険 事業会計	246億2,317万2千円	235億 250万4千円	4.8%
介護保険 事業会計	160億4,327万2千円	155億9,058万1千円	2.9%
後期高齢者医療 事業会計	59億 714万7千円	55億9,806万8千円	5.5%
計	1,518億2,259万1千円	1,370億8,615万3千円	10.7%

令和2年度各会計予算を可決

総額は1518億2259万1千円(前年度比10.7%増)

渋谷区成年後見制度利用促進審議会条例などを可決

令和二年第一回定例会は二月十九日から三月二十三日までの三十四日間開かれ、初日の本会議には、五人の議員が代表として一般質問を行い、人権擁護委員の候補者三人について支障ない旨を答申しました。二日目の本会議には七人の議員が個人として一般質問を行いました。

三月三日の本会議(中間日)では、渋谷区条例を左横書き等に改める条例など条例十六件、令和元年度一般会計補正予算一件、特別区道路線の認定二件、東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更一件を原案のとおり可決しました。

三月二十三日の本会議(最終日)では、令和二年度一般会計と三特別会計の当初予算四件を可決、専決処分報告一件を聴取、議員提出議案十一件を否決しました。このほか、請願二件を不採択としました。

次回定例会のお知らせ及び傍聴について

●令和二年第二回定例会は六月三日から開かれる予定です

●本会議・委員会とも傍聴ができます(ただし、傍聴に際し感染症予防対策をお願いする場合があります)

会議の当日、区議会事務局で傍聴券に住所、氏名を記入し、交付を受けてから傍聴席に入ってください。車椅子のままで傍聴できるスペースを用意しています。

区議会事務局議事係 TEL 3463-1073

●本会議で手話通訳を行っています

定例会初日は手話通訳者を配置します。それ以外の日については、原則、傍聴を希望する日の七日前までに、①住所②氏名③連絡先④希望日時を明記し、FAX・メール等で庶務係までお申し込みください。

区議会事務局庶務係 FAX 5458-4939

TEL 3463-1094

メールアドレス div-kgikai@shibuyatokyo

一般質問(代表)

実施計画・まちづくり、福祉等5点について伺う



自由民主党 丸山 高司 議員

実施計画について

問 渋谷区実施計画二〇一七についてどのように総括し、新実施計画二〇二〇に込められた区長の思いと特徴を伺う。

区長 事業として掲げた内容はおおむね着手できたと思いが満足していない。暴風雨対策や新たな感染症対策などは今後強化が必要と認識。これらのはではできる範囲で実施計画二〇二〇に反映し、掲げた事業を着実に実施すること「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」と「成熟した国際都市」の実現を目指す。

まちづくりについて

問 ①三月末にスタートアップ・エコシステムのグローバル拠点都市が全国で三か所程度選定されるが、応募に向けての連携を含め進捗状況を伺う。②本年度新設した国際戦略推進担当課長にどのような役割を担わせ、ひいては本区を目指すとする都市像に

ついて所見を伺う。③今後のササハタハツまちづくりでは、民間企業のノウハウやリソースとどのように連携し、「まちラボ」としてどのような取組を展開していくのか。

区長 ①渋谷区のポテンシャルを十二分に発揮できる体制づくりを条件に都と連携することにした。②スタートアップ・エコシステムだけではなく、各国大使館や海外都市との連携、海外のまちづくり組織との協業も担当。渋谷を世界に誇れるスタートアップ・エコシステムの街にするため鋭意まい進するので引き続きご支援を。③プロジェクトの情報発信や協力者の募集、オンラインメディアを通じた情報の受発信と、リアルな活動の場をつなげる取組等について展開する。「まちラボ」では、民間企業と連携して活動拠点の設置計画を具体化する。

福祉について

問 重度の身体障がい者等が利用できる(仮称)神宮前三丁目障がい者施設について、来年度中に実施設計をスタートし、当事者や家族、事業者などと協議しながら、施設整備を進める手法を評価するが、現段階でこうした声を反映した施設の特徴的な概要を伺う。

区長 昨年七月に公募型プログラムで事業運営提案を決定したが、室内温水プールや診療所の整備、在宅児童への訪問型支援の実施など、先駆的な機能が含まれている。特に室内温水プールは区独自設備で、障がいの種別や状態にかかわらず誰もが体を動かし運動を楽しむ機会を設けることは、ダイバーシティ&インクルージョンを推進する本区

にふさわしい取組だと考える。

問 都の財政支援を得られない状況の中で、先行する世田谷区と連携しながら検討している、児童相談所整備についての展望を伺う。

教育について

問 ①学校施設長寿命化計画策定に当たり、社会の変化、進展に対応した機能や役割等に配慮した学校施設のあるべき姿について所見を伺う。また、計画策定に向けて行った準備行為、さらに大規模改修に対応する施設と建て替え再整備を必要とする施設について、その選択に至った経緯を丁寧に保護者や地域の皆様に周知し、見通しを示すべきではないか。②令和四年四月以降の開校を目的に渋谷本町学園の施設整備計画を立て、本

町学園みどりの丘公園の活用により教室を確保し、地域スポーツの活動施設として整備してはどうか。③新年度からの小学校プログラミング教育必修化に当たり、子どもたちが興味、関心を持ち、楽しめる授業内容の設定や教材の利用が必要と考えるが、その施策展開について伺う。④教員のこれまでの働き方を見直し、子どもたちに対して効果的な教育活動ができる環境を構築するため、今後の取組をどう進めていくべきか伺う。⑤区内全ての対象となる幼稚園、小中学校において、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会観戦チケットの配布は確定しているのか。また、教育委員会として子どもたちの安全・安心を確保するための対策方針を速やかに検討し周知するべきでは



渋谷本町学園みどりの丘

町学園みどりの丘公園の活用により教室を確保し、地域スポーツの活動施設として整備してはどうか。③新年度からの小学校プログラミング教育必修化に当たり、子どもたちが興味、関心を持ち、楽しめる授業内容の設定や教材の利用が必要と考えるが、その施策展開について伺う。④教員のこれまでの働き方を見直し、子どもたちに対して効果的な教育活動ができる環境を構築するため、今後の取組をどう進めていくべきか伺う。

区内全ての対象となる幼稚園、小中学校において、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会観戦チケットの配布は確定しているのか。また、教育委員会として子どもたちの安全・安心を確保するための対策方針を速やかに検討し周知するべきでは

区長 ②都市公園を廃止するには、都市公園法の規定により代替の施設が設置される場合などの要件を満たすことが求められるなど、制度上の制約を確認する必要があるが、渋谷本町学園の活性化に有効であるので検討を進めたい。

教育長 ①学校運営協議会の検討の中で提出された意見も踏まえた上で、あるべき姿を検討していく。また、来年度検討会を立ち上げ、計画を策定する段階でパブリックコメントを実施し、保護者や地域の方々にも知っていただく機会を設けたい。③次期ICT教育システムでウェブ上のソフトウェアが使用できる環境を構築し、子どもたちの学習意欲を高めるようなプログラミング教材を提供できるように検討する。④区独自の勤務実態調査結果を学校と共有し、

学校運営協議会の議題として取り上げるよう周知するなど、一体となって対応できるように進める。⑤区立幼稚園の五歳児から中学校三年生までの観戦チケットを確保している。また、各学校の安全・安心の確保に向け、観戦に関する方針を定め周知するなど、十分な準備を行った上で観戦できよう努める。

令和2年度予算・福祉・教育・防災など10点を伺う



しぶや笑顔 田中 匠身 議員

抽出し地域で共有。④個人に合わせプログラム強化。地域ケア会議の活用を含め今後研究する。⑤支援していく。

障がい者福祉について

問 ①手話言語・情報コミュニケーション保障条例制定と支援ツール普及を。②バリアフリー化整備の早期拡充を。

防災について

問 ①避難所屋上に太陽光発電と蓄電設備の設置を。②体育館等にテレビの設置を。③自主避難所施設の運営基準策定を。④高齢者等の避難所に地域の介護事業所と協定を。⑤災害ボランティアセンターの体制づくりを。⑥広域連携を含めた受援計画拡充を。

まちづくりについて

問 ①ササハタハツ全体像は。②オンデマンド乗合交通整備を。③地域限定SNSに町会入会フォームを。④土地利用調整条例における救済施策を。

子育てについて

問 ①通所病児保育が設置し

やすい基準を。②幼稚園・保育園職員のLGBT研修や、ネウボラでの啓発体制は。

問 ①学校現場との関係方針は。②フューチャールームの整備を。③学校運営協議会による視察を研修や裁量予算対象に。④学校運営協議会における課題解決のあり方と地域学校協働本部の役割は。⑤GPS機能が小学生見守りを。⑥食育にこだわる給食を。

観光・産業振興について

問 ①明治神宮百年祭で観光馬車実証を。②電子ポイント



渋谷タブレットの日の遠隔授業(笹塚中学校)

導入を。③スタートアップ・エコシステム強化ポイントとして受け止める。②事例を参考に研究。③規制緩和や多言語対応などに向け産学と協力。

東京五輪・パラリンピック関連施策について

問 ①ボランティアの情報ネットワーク構築を。②障がい者も自主製品販売で参画を。

区長 ①事業会場に端末配置し体制を整える。②実施検討。

区政運営について

問 ①オープンデータの活用は。②内部統制制度の導入を。

区長 ①アプリ開発促進等を検討。②制度の構築を進める。

新型コロナウイルス感染症対策など7点を伺う

党 明 公
沢島 英隆 議員



新型コロナウイルス感染症対策について

問 区としての対応は。

区長 対策本部を設置し感染予防啓発、学校や保育園、区有施設等での患者発生に備えた対応を全庁的に検討、推進。

子育て支援・教育について

△渋谷区子育てネウボラ室内(完成イメージ)



問 ①渋谷区子育てネウボラの実績、効果は。②母子保健システム導入の効果は。③フインランド視察の内容は。④ペアレンツセミナーの目的は。

区長 ①地域包括ケアシステムの取組状況は。②「とっとり方式認知症予防プログラム」進捗は。③認知症についても展で「注文をまちがえる料理店」を開催し常設店舗に。④フレイル予防の積極的取組を。⑤介護職員宿舎借上げ支援事業と外国人介護人材育成及び受入れのための管理者支援研修の効果予測は。⑥ほじょ犬Welcomeシールの啓発は。

問 ①避難所用ポータブル蓄電池は。②全戸配布の防災マニュアルと来街者向け防災地図は。③防災キャラバンの詳細と「防災さんぽ」の実施を。④コンビニへの多言語対応AED配備は。⑤災害時の避難所運営改善は。⑥防犯カメラ整備は。⑦区立公園等の防犯カメラ設置拡充と人的警備は。

区長 ①携帯電話三百台をフル充電、ソーラーパネルで充電可能な製品を予定。台風時期前に配備。②マニュアルはマンションの防災対策等掲載。地図は持ち歩いて役立つものに。③区内十一地区で実施し、

問 ①区内セブン・イレブン六十七店舗に四月以降迅速に設置。②マニユアルを作成し統一的対応可能に。③登下校区域に今年度累計百九十台、来年度三十台設置予定。高い犯罪抑止効果を期待。④百十三公園に二百七十二台設置予定。警備会社が画像監視し安全確認。

区長 ①区独自ボランティアの登録数、活動内容は。②幼児生徒の本番観戦、新国立競技場招待は。③区のパラリンピックの取組の評価は。④シブヤフォントのおみやげ販売をリレー、おもてなしスポット等。⑤幼稚園から高校生が観戦予定。新国立競技場招待は調整中。⑥高い評価。⑦検討。

問 ①渋谷駅周辺再開発事業の意義は。②創造文化都市実現は。③住宅確保要配慮者住宅支援は。④ネズミ対策は。

区長 ①国道や線路による分断や地形による高低差等により駅施設等の更新が進まない状況を再整備により回遊性、利便性の向上、バリアフリー化を推進し都市の機能と魅力向上を図る。②「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」の規制緩和を活用し都市計画ルールを検討。③実態調査を踏まえ住宅政策審議会で審議。④薬剤散布や捕獲機設置等。

問 経常的経費の支出に基金を取り崩すと財政運営はどうなるか。今後の基金の活用は。

区長 安易な基金の充当は税

区民のいのちと暮らし優先の2020年度渋谷区予算編成を

日本共産党
五十嵐千代子 議員



新型コロナウイルス対策の支援強化を

問 ①新型コロナウイルス対策として災害用備蓄マスクの支給や中小事業者の支援を強化すべき。②国に羽田空港増便に伴う新飛行ルートの撤回を求めよ。

区長 ①マスクを配布する場合は重症化するおそれのある人を優先するなど検討。事業者支援は国の動向を踏まえ丁寧に対応。②その考えはない。



△「多様性社会を推進する条例」啓発パネル

用語解説

※注文をまちがえる料理店IIホールスタッフ全員が認知症の人で注文や配膳を間違えることも一緒に楽しむ料理店

ジェンダー平等について

問 ①女性の幹部登用や、審議会の参加率と今後の取組は。②選択的夫婦別姓と同性婚導入のための民法改正を国に求めよ。③性的搾取被害から区民、来街者を守る取組と、相談活動の場所の提供と啓発リーフの普及を。

国保料等の引下げを

問 ①国保料を引き下げるため国と都に財政支出を求めるとともに、区の繰入を増やすべき。また、子どもの均等割を免除せよ。②後期高齢者医療保険の窓口負担二割への引上げをやめるよう国に求めよ。区独自に住民税非課税世帯の窓口負担を無料にすべき。

都立病院を都立のまま存続を

問 ①平成三十年四月時点で女性幹部比率一六・八%、審議委員比率三一・二%、女性を増やす取組を継続。②国の議論と動向を注視。③引き続き啓発活動と指導を徹底。

難聴高齢者への補聴器助成を

問 ①難聴高齢者に対する補聴器助成を七区で実施。当区でも実施し相談窓口の設置を。

都が責任をもつて進めていくべきものと考え

区長 都が責任をもつて進めていくべきものと考え。

広尾病院を含む都立病院の地方独立行政法人化をやめるよう都に求めるべき

問 ①国、都には区長会で要望しており重ねて要望せず、繰入は縮小すべきと考える。子どもの均等割減免の考えはない。②国には広域連合から要望。無料化の考えはない。

国保料等の引下げを

問 ①国保料を引き下げるため国と都に財政支出を求めるとともに、区の繰入を増やすべき。また、子どもの均等割を免除せよ。②後期高齢者医療保険の窓口負担二割への引上げをやめるよう国に求めよ。区独自に住民税非課税世帯の窓口負担を無料にすべき。

子育て・教育・生涯学習・健康 についてなど8点を伺う



立憲民主党
治田 学 議員

子育てについて

問 ①医療的ケア児の受入れ拡充を。②恵比寿「ふたご育児の集い」を他地域で。③多胎児育児支援DVD等作成を。
区長 ①柔軟に対応。②ニーズ調査で検討。③研究課題。

教育について

問 ①ICT教育方針発信を。低学年アンケート個別記録を。保護者の声を聞く機会を。②コミュニティスクール課題解決を。校則の在り方の議論を。運営協議会情報発信を。③教員勤務時間把握を。スクール・サポート・スタッフ増員を。変形労働時間制導入反対を。
教育長 ①広く発信。学校と協議。授業公開等。②状況再確認。引き続き周知。発信検討を促す。③次期システム管理計画検討。二年度全小・中配置。三年度は更なる申請検討。学校現場の声を聞き検討。

生涯学習について

問 ①子ども将棋大会規模拡充を。②シニア将棋活性化を。
区長 ①日本将棋連盟と話し機会を広める。②連携等検討。

健康について

問 ①新型コロナウイルス感染症対応は。②イベント等対応検討を。③備蓄マスク等拠出規定は。ない場合は整備を。
区長 ①二月四日対策本部立上げ。電話相談センター紹介等対応。②感染状況等で対応。③規定なし。配布順位等検討。

防災について

問 ①避難所運営委員会に予算を。②若い世代に訓練参加を。③アロッププロジェクトを見直し避難表示を明確に。④防災行政無線自動応答サービス回線増を。⑤常時使用可能なAEDを。民間設置補助を。
区長 ①既計上の予算を活用。要望で倉庫管理備品類を検討。②防災キャラバン事業を充実。③周知継続。④実績等で検討。⑤屋外用収納ケースは高額のためコンビニ設置とし今後は検討。民間補助の考えはない。

安全・環境について

問 ①客引き行為等防止指導



第十七回渋谷区子ども将棋大会の様子(写真提供:公益社団法人日本将棋連盟)

体制構築を。②羽田空港問題実機飛行確認日数、便数、苦情件数は。③実機飛行経路の知っていたか。④旅客便実機飛行なら環境調査と対策を。⑤国に防音対策補助制度を。住宅簡易改修助成の利用促進を。
区長 ①環境浄化対策を推進。②七日間、A滑走路計百四十八便、C滑走路計三百七十二便、二月十三日時点で延べ九十八便。③国へ事実確認、公表等要請。④住民説明会で国が説明。⑤環境基本計画見直しの際検討。⑥区民の意見等を国へ。二重サッシを推奨。

まちづくりについて

問 ①まちづくり計画マップは。②空家等適正管理支援事業周知徹底を。行政代執行を。
区長 ①情報発信方法を検討。②空き家の活用を含め周知。対策事業で予防的対応を推進。

文化・エンタテインメントについて

問 ハロウィーン経費削減を。
区長 コストダウンを検討。



一般質問(個人)

羽田空港機能強化について伺う



れいわ渋谷
堀切 稔 議員

実機でのテスト飛行について

しての方向性を伺う。③渋谷区として全くスタンスが示されていない。であれば区として国交省や都に対し、ルートの変更を求めるべきではないのか伺う。私はこの段階であれば撤回をすべきだと思う。
区長 ①区ニュースや区ホームページ等で引き続き周知を図る。ルート外の飛行については既に国に伝えており、事実確認も含め国の責任で対応し情報提供、公開を要請した。②③国の事業なので住民の不安は国の責任で説明すべき。皆様の声はしっかりと届けていく。静観と言われるのは疑問であることはやっている。

事業評価の体制等2点について伺う

事業評価の体制等2点について伺う



立憲民主党
小田 浩美 議員

事業評価の体制について

問 データ分析及び管理に対して専門性を持つ職員の登用と専門部局の新設を。また、内閣府が推進するEBPMを今後取り入れる考えはあるか。
区長 同様な役割を経営企画部と財務部が担っているため、専門部局新設は考えていないが、EBPM思考を深める勉強会等を検討していきたい。

男女平等及び多様性を尊重する社会について

問 条例が掲げる「男女の権利の尊重」から見る選択的夫婦別姓について区長の見解は。
区長 私自身、一日も早く日本でも選択的夫婦別姓が実現することを願っている。

用語解説 ※EBPMとは

EBPMとは、Evidence Based Policy Makingの略で客観的な証拠に基づいた政策立案の意。

新型コロナウイルス感染症から区民を守るためになど3点を伺う



れいわ渋谷
金子 快之 議員

新型コロナウイルス感染症から区民を守るために

問 ①区のマスク・消毒液の備蓄は。②政府発表「毎週一億枚のマスク」は一体どこに。③区への相談、対応は。④窓口職員に予防マスクを配給しては。⑤職員感染時の対策は。
区長 ①災害用が相当数。②大規模イベントへの影響は。市場供給と認識。③症状相談に受診案内等。④状況で判断。⑤新型インフル等対策行動計画で対応。⑥慎重適切に対応。

地域子育て支援拠点・運営事業者の選定について疑問

区長 ①四月から非来庁型サービス本格実施。在宅勤務は

新型コロナウイルスの対策など区民を守る取組について



鈴木 建邦 議員

区政課題について

問 ①感染拡大防止に窓口の電子化と在宅勤務を。②パンデミック発生時のBCP(事業継続計画)を。③いざという時オンライン学習は可能か。
区長 ①四月から非来庁型サービス本格実施。在宅勤務は

一般会計予算と財源の見直し

問 ①中長期の財源見直しは。②野放図な予算拡大は問題だ。
区長 ①②財政力を堅持した行政運営に留意する。

*質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容は、区議会ホームページまたは会議録(5月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は区政資料コーナー、区立図書館でご覧になれます。

来年度の本格実施に向け試行等準備中。②渋谷区業務継続計画等を準用、職員の重点的配置を検討。④国の方針具体化に合わせ対応。⑤街の賑わい創出や経済活性化をもたらしが地域の安全安心を含む環境面とのバランスが課題。イベント有料化等検討。⑥安全対策強化等を国に強く求める。

子育て支援、保育、教育について区長、教育長に質問



日本共産党 黒 孝二 議員

子育て支援について

問 ①子どもの権利条例を制定すべき。②子どもの貧困実態調査を行い、貧困率改善目標を定めて取り組むべき。③

用語解説 ※HPVワクチン
Ⅱ子宮頸がん等の主な原因となるヒトパピローマウイルスの感染を予防するワクチン

用語解説 ※プログラムミング
教育C分類Ⅱ学習指導要領に例示があるA分類と例示がないB分類が各教科等のための学習であるのに対し、各教科とは別にプログラミングの楽しさや面白さ、達成感を学ぶもの

④子ども医療費無料化を高校生まで拡大せよ。
⑤実施や、定める考えはない。
⑥区立認可保育園の増設で待機児童ゼロに。⑦保育士の住宅補助対象を拡大し、賃金引上げ補助の導入を。
⑧様々な手法を活用し取り組む。⑨その考えはない。

問 ①令和二年度とうきょうママ・パパ応援事業が増額と

子育ての支援について

子育ての支援・教育・防災について伺う



シズヤ笑顔 神 蘭麻智子 議員

問 ①放課後クラブに静養室設置と、おやつ無料化の実施、スポーツ教室等の有料化はやめよ。②教員に変形労働時間制を導入せず、増員を。③三十五人学級の実施を。④学校図書館専門員を正規職員に。

問 ①保健室等を活用、保護者負担、検討する。②現場の声を聴きながら検討し、増員はない。③考えはない。

教育について

問 ①各避難所開設訓練を行いマニュアル等の改良を。②防災コーデイネーター養成を。③継続的な訓練の実施、マニュアルの見直しにより実践的な運用ルールを確立。④活用方法や養成について検討。

保育について

問 ①返礼品はコト消費に限らず渋谷らしい物品も良いのでは。②コスト低減の方策は。③検討するが、まずは渋谷ならではの体験やコト消費。④外部委託し節減を図る。

問 ①事故発生時の補償の国の説明は。②責任を持って補償するよう交渉を。③航空災害を含めた防災計画の修正は。

羽田空港の経路変更に係る問題について

羽田空港の経路変更に係る問題、5Gの活用等4点を伺う



須田 賢 議員

問 ①住民説明会での説明と同様。②区として当然の責務。③国、都と協議、三月中旬に原案作成、防災会議で決定。

問 ①都と連携し5G(第五世代移動通信システム)を活用した次世代サービスの取組を。②都に加えて民間企業、大学、渋谷未来デザインとも連携し積極的に研究を進める。

問 ①返礼品はコト消費に限らず渋谷らしい物品も良いのでは。②コスト低減の方策は。③検討するが、まずは渋谷ならではの体験やコト消費。④外部委託し節減を図る。

防災について

問 ①返礼品はコト消費に限らず渋谷らしい物品も良いのでは。②コスト低減の方策は。③検討するが、まずは渋谷ならではの体験やコト消費。④外部委託し節減を図る。

5G活用について

問 ①返礼品はコト消費に限らず渋谷らしい物品も良いのでは。②コスト低減の方策は。③検討するが、まずは渋谷ならではの体験やコト消費。④外部委託し節減を図る。

議会情報公開・個人情報保護実施状況

情報公開関係 (令和元年12月1日～令和2年3月31日)	
請求件数	1件
文書件数	35件
公開件数	25件
非公開件数(不存在)	10件
個人情報保護関係 (令和元年12月1日～令和2年3月31日)	
請求件数	0件

問 eラーニング(情報技術を用いて行う学習や学び)のコンテンツを充実させ活用を。②ドリル学習アプリで時間と場所を選ばずに利用可能な環境があり、今後も活用。

問 eラーニング(情報技術を用いて行う学習や学び)のコンテンツを充実させ活用を。②ドリル学習アプリで時間と場所を選ばずに利用可能な環境があり、今後も活用。

問 eラーニング(情報技術を用いて行う学習や学び)のコンテンツを充実させ活用を。②ドリル学習アプリで時間と場所を選ばずに利用可能な環境があり、今後も活用。

ふるさと納税について

問 eラーニング(情報技術を用いて行う学習や学び)のコンテンツを充実させ活用を。②ドリル学習アプリで時間と場所を選ばずに利用可能な環境があり、今後も活用。

5G活用について

問 eラーニング(情報技術を用いて行う学習や学び)のコンテンツを充実させ活用を。②ドリル学習アプリで時間と場所を選ばずに利用可能な環境があり、今後も活用。



△予算特別委員会表決風景

令和二年度各会計予算四件は、二月二十日に設置した予算特別委員会(全議員三十四人で構成、委員長・齊藤貴之議員、副委員長・橋本侑樹議員)に付託し、四つの分科会に分かれ審査しました。

総務分科会

職員人事については、区民サービスや職場の改革につながる適材適所の配置を行い、先を見据えて時代に合った研修を実施するよう努められた。▼専門的な知識を持つ障がい者の積極的雇用など、障がい者の雇用率を国の基準に引き上げられた。▼安全安心なまちづくりのため、客引きを根絶するよう、警察とも連携強化し、被害を防止するよう取り組まされた。また、警備の対象エリアも広げ、多様な方法を使って悪質な犯罪を排除するよう努められた。

区民環境分科会

ハッピーマザー出産助成金支給事業については、限度額の引き上げを検討された。▼新型コロナウイルス感染症に関連する中小企業支援策については、迅速で適切な対応に取り組まれた。

福祉保健分科会

生活困窮者の子どもへの学習支援事業については、柔軟に対応するとともに丁寧な制度の周知に努められた。▼敬老大会経費については、多くの方に楽しんでもらえる事業にされた。

文教分科会

新島青少年センター及び青少年山の家運営については、区民の大切な施設なので、地元との交流も含め、今後も継続して利用されたい。

母子保健事業については、母子保健システム構築に当たり、情報連携に必要な予算を措置されたい。

委員会の活動状況

令和元年12月7日〜令和2年3月23日

常任委員会

総務委員会

▼渋谷区地域防災計画の修正に関する報告を受けました。

今回の修正は、渋谷区洪水ハザードマップの改訂、東京都による各種ガイドラインの改訂等を反映させるものです。また、渋谷区民防災マニュアルの配布について報告を受けました。地震や台風など自然災害が増える中で、防災については年代・国籍を問わず全ての区民に情報が浸透する取組を進めるよう求めました。



区内に全戸配布された渋谷区民防災マニュアル

て報告を受けました。区民の不安が広がっている中、区の適切な対応を求めました。

区民環境委員会

▼整備工事中の宮下公園について、現地視察を行い整備概要の報告を受けました。宮下公園には多目的運動施設やボルドリングウォール、スケート場などの施設が設置されます。利用者が快適に利用できる公園となるよう、安全確保に配慮し整備を進めることを求めました。



整備工事中の宮下公園視察

文教委員会

▼しぶやニュー駅伝については、大会時間の延長や大型ビジョンを復活させる等、参加者増による事故に備えた防止対策を早急に求めました。

▼幼稚園、小・中学校教員勤務実態調査結果を受け、保護者や地域等のあらゆるツールを使い、教員の負担軽減策を図るよう強く要望しました。

▼渋谷区まちづくりマスタープランの周知及び広報について報告を受けました。これは昨年十二月に策定したまちづくりマスタープランを広く区民に周知するため、地域別報告会やパネル展を開催するものです。今後二十年間のまちづくりの指針となるものであり多くの区民に理解してもらえよう周知に努め、新たに作成したPR動画については報告会に限らず活用することなどを求めました。

福祉保健委員会

▼受動喫煙防止対策について報告を受けました。本年四月改正健康増進法等が全面施行するため、区民、来街者、事業者等が適切に対応し、望まない受動喫煙の防止を推進す

議会運営委員会

▼二月十九日、第一回渋谷区議会定例会が招集されました。当委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、渋谷区成年後見制度利用促進審議会条例の制定など条例十五件、学校情報通信ネットワークワーク環境整備等に係る令和元年度一般会計補正予算一件、令和二年度一般会計及び三特別会計の当初予算四件、特別区道路線の認定二件、東

特別委員会

自治権確立特別委員会

▼二月六日、渋谷区を所管区域とする児童相談所「東京都児童相談センター」と、併設されている一時保護所の視察を行いました。都区の連携や、令和二年度に設置予定の世田谷区・江戸川区・荒川区との調整について質疑しました。

交通・公有地問題特別委員会

▼十二月十六日に首都高速道路3号渋谷線の下りに新設さ

れた渋谷入口について、現地視察を行いました。首都高速道路株式会社担当者から、渋谷入口を利用することで周辺道路の混雑を回避することができ、所要時間の短縮が図られるとともに渋谷駅周辺道路の混雑緩和にも寄与するとの説明がありました。

五輪・パラリンピック対策特別委員会

▼昨年十二月十三日、味の素ナショナルトレーニングセンターを視察し、オリンピック候補が行っているトレーニング



味の素ナショナルトレーニングセンター視察

多様性社会推進特別委員会

▼男女平等・ダイバーシティ推進担当課から、令和二年度男女平等・多様性社会推進事業について報告を受けました。

グや栄養管理等を体感しました。視察を機にJOCと更なる連携を図り、大会本番を迎えることを確認しました。

予算に対する各会派の意見

構成人数が3人以上の会派

賛成 渋谷区議会自由民主党議員団

スピード感を持った施策と未来への投資をみすえる
バランスの取れた予算編成を評価

令和2年度当初予算は「子育て支援・教育・福祉施策の充実」「新たな価値や文化、コミュニティを創造する街づくりの推進」「安全安心なまちづくりと快適な生活環境の整備」を3つの柱として編成されました。一般会計予算の総額は1,052億4,900万円で、対前年度比13.9%増、過去最大規模の未来への投資をみすえた予算となっております。

第1の柱では、子育て支援として保育定員を319人拡大する他、渋谷区子育てネウボラも充実させます。また、地域福祉の中核を担う拠点として、高齢者ケアセンター跡地と恵比寿西二丁目複合施設に特別養護老人ホーム・グループホーム、区営住宅などを整備します。教育施策としては、より質の高いICT教育を推進するため、校内LANの整備や教務支援ソフトの改善等で学習環境整備を進めます。第2の柱では、6月にオープン予定の新宮下公園の他、さらにインクルーシブ公園・新プレーパーク整備を進め、区民の快適な空間づくりを進めます。第3の柱では、引き続き風水害を含めた防災対策を強化する他、多言語対応AEDの設置など安全安心なまちづくりを構築します。

新たに策定された、渋谷区実施計画2020の進捗をみながら、持続可能な行財政運営が行われるよう自民党議員団は責務を果たすことをお約束して、令和2年度予算に賛成します。

賛成 渋谷区議会公明党

「渋谷区子育てネウボラ」など子育て支援の充実や
福祉、防災・防犯等への積極的な予算編成を高く評価

令和2年度予算について、まず、子育て支援については、「渋谷区子育てネウボラ」に導入される「母子保健システム」は、各部署間での速やかな情報共有が可能となり、よりきめ細かい支援ができるようになります。また、保育園の待機児童解消に向けての定員拡大では、令和2年度は319人規模の定員拡大を行います。

区民福祉では、高齢者ケアセンターを建て替え、特別養護老人ホーム(84床)を整備します。恵比寿西二丁目複合施設(仮称)が令和3年3月に開設予定で、認知症高齢者グループホーム、看護小規模多機能型居宅介護事業所、知的障がい者グループホーム・障がい者通所施設、保育園、区営住宅等を整備します。また、認知症支援対策としては「とっとり方式認知症予防プログラム」が導入され、フレイル予防対策も実施されます。

防災対策として、災害や大規模停電に備え、スマートフォン等への充電用として、大容量蓄電池が全避難所33か所に配備されます。また、区内のセブン・イレブン67店舗に多言語対応AED(自動体外式除細動器)が設置され、24時間の対応が可能となります。防犯対策として、特殊詐欺防止のための防犯用自動通話録音機が600台無償貸与されます。

今後も渋谷区議会公明党は、一層の区民福祉向上のため全力で取り組む事をお誓いし、予算に賛成いたします。

賛成 シブヤを笑顔にする会

福祉・子育てなど喫緊の課題に対応しつつ、成熟した
国際都市の実現に向けた積極的な未来への投資を評価

令和2年度渋谷区当初予算は過去最大となりました。保育では待機児童対策強化に加え、医療的ケア児の保育所受け入れ整備もスタート、保育所入所調整にAIを導入し、業務効率化とサービス向上を目指します。高齢者福祉では特別養護老人ホーム・グループホームなどの施設を拡充、介護人材の安定確保のため、住宅費負担の軽減や外国人介護人材の雇用を促進。障がい者福祉では誰もが安心して利用できるインクルーシブ公園の整備、就労支援事業や移動支援事業の拡大を図ります。教育ではICTの新環境構築により、質の高い学習環境と教職員の働き方改革を推進、放課後クラブでは有料プログラム導入など、多様な学びを広げます。防災では避難所へのポータブル蓄電池の配備や防災アプリの多言語対応など、さまざまな人に配慮した対策を実施します。健康・環境では受動喫煙防止のため、分煙指導や屋内外の喫煙室設置を強化します。産業振興では、成熟した国際都市としてスタートアップ・エコシステムの形成を目指します。PPP事業による新宮下公園整備、渋谷独自のふるさと納税制度など複数の公民連携を推進。当会派の提案が十分に盛り込まれた施策を高く評価します。

シブヤを笑顔にする会は、誰もが笑顔で暮らせる渋谷区を目指し、切迫する新型コロナウイルス対策にも注力しつつ、あらゆる区政課題に全力で取り組んでまいります。

賛成 立憲民主党渋谷

防災対策、安全・安心のまちづくり、喫煙問題、待機
児童対策、インクルーシブ公園の整備を評価

令和2年度予算は、一般会計予算総額、1,052億4,900万円となり、対前年度比13.9%増の過去最大の予算となりました。防災対策では、昨年10月の台風19号の教訓を活かし、水防対策の強化を進めるとともに、避難所に大容量蓄電池の配備を行います。客引き行為等防止指導員の1名増員を行い、安全・安心に過ごせる渋谷区として繁華街の環境浄化対策に取り組みます。平成31年4月から、路上での喫煙が禁止となり、違反者からは過料の徴収を始めました。また、コンテナ型の喫煙所の設置も始まり、令和2年4月1日からは原則屋内禁煙となり、喫煙室の設置が義務づけられます。区としても指導員を配置し、指導の徹底を図ります。待機児童対策では、令和2年度は、319人の定員拡大を行う予定で、令和3年度も5施設が開設予定になっており、また賃料補助の拡充なども合わせて行い、待機児童対策をより進めていきます。さらには、我が会派から提案していた障害のある子もいない子も一緒に遊べるインクルーシブ公園の整備が始まります。LINEを活用したオンライン申請等が導入されます。住民票の申請、納税証明書等の申請、犬の登録等、また道路・橋・公園遊具の破損等の通報なども自宅や外出先から24時間365日行えるようになります。立憲民主党渋谷は、「多様性を認め合い、困ったときに寄り添い、お互いさまに支え合う社会」の実現を目指し、全力で取り組んで参ります。

反対 日本共産党渋谷区議会議員団

区民には国保料と後期高齢者医療保険料を値上げ、
渋谷駅周辺再開発など大企業奉仕の予算に反対

消費税増税の強行や新型コロナウイルスの感染拡大で、区民のくらしが困難になる中、くらし、福祉、子育て、教育、中小業者の営業への手厚い支援が強く求められています。

区の予算は、国保料の16年連続値上げ、75歳以上の医療保険料も値上げし、区独自の介護ヘルパーの削減や学校図書館専門員の民間委託など、負担増と福祉・教育の切り捨てを強行しています。

その一方で、東急グループが中心の渋谷駅周辺再開発に19億2千万円もの税金を投入し、さらに区営住宅等を指定管理させて儲けをあげさせようとしています。三井不動産には宮下公園の定期借地料を190億円も値引きし、公園や駐車場の管理でも大儲けさせ、さらに議会にも知らせず6億2千万円のがれき撤去費用まで負担します。また、不要不急の河津の保養所に、1億3千万円ものムダづかいは認められません。

党区議団は予算修正案で示した国保料の値下げや学校給食の無償化、高校生と住民税非課税世帯高齢者の医療費無料化、難聴高齢者への補聴器購入費助成などの実現に全力をあげます。また、1,079億円のため込み金を活用して、特養ホームや認可保育園の増設をすすめ、待機者(児)ゼロを目指します。税金のつかい方をくらし・福祉最優先に切り替えて、自治体本来の役割を発揮する区政へと転換するために全力をあげます。

お知らせ

●議員の住所等変更

佐藤 真理 議員 (令和2年3月1日)

新住所 恵比寿4-27-12

●4月1日から各戸配布コールセンターの電話番号が変わりました

区議会だよりが届かない又は配布を停止したい場合など、

区議会だよりの配布に関するお問合せは、

各戸配布コールセンターで受け付けています。

☎ 0120-849-277

月～土曜日 9:00～18:00 ※祝・休日、1月1～3日を除く



◆議員提出議案

令和2年 第1回定例会／議案等の概要と結果		自由民主党	シブヤ笑顔	公明党	立憲民主党	日本共産党	れいわ	その他 (議席番号別)	無所属	無所属	結果
件名	概要										賛成 ○ 賛成 × 賛成 × 賛成 ×
人権擁護委員の候補者について	森下 利江（もりした りえ）氏 幡ヶ谷二丁目在住	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 ×
人権擁護委員の候補者について	竹内 淳（たけうち じゅん）氏 東一丁目在住	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 ×
人権擁護委員の候補者について	浅野 明子（あさの あきこ）氏 西原三丁目在住	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 ×
渋谷区条例を左横書き等に改める条例（制定）	条例の形式の変更（縦書き→左横書き）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	1 児童相談所に勤務する職員に対する手当の新設 2 地方公務員法の改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区区民会館条例の一部を改正する条例	神宮前穂田区民会館の廃止	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
渋谷区地域交流センター条例の一部を改正する条例	地域交流センター西原の休館日の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区印鑑条例の一部を改正する条例	印鑑登録の資格に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例	1 保険料率の改定 2 保険料賦課限度額の変更 3 保険料の減額	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
渋谷区成年後見制度利用促進審議会条例（制定）	1 渋谷区成年後見制度利用促進審議会の設置 2 関係条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区障害者福祉施設条例の一部を改正する条例	障害者福祉センター代々木の杜において行う事業の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区立母子生活支援施設条例の一部を改正する条例	施設の名称の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例	公衆浴場における浴槽水の水質基準の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区営住宅条例の一部を改正する条例	1 恵比寿西二丁目住宅（東京都渋谷区恵比寿西二丁目13番5号）の設置 2 駐車場に係る規定の追加 3 不正入居者から徴収する利息の改正（5%→法定利率）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
渋谷区地域福祉人材住宅条例の一部を改正する条例	不正入居者から徴収する利息の改正（5%→法定利率）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区駐車場条例（制定）	名称 渋谷駐車場（宮下公園駐車場） 位置 東京都渋谷区渋谷一丁目25番ほか	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の業務量の適切な管理等に係る規定の新設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区教育センター条例の一部を改正する条例	事業内容に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度渋谷区一般会計補正予算（第5号）	補正金額 7,418,000千円 繰越明許費の補正（追加）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和2年度渋谷区一般会計予算	予算額 105,249,000千円	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
令和2年度渋谷区国民健康保険事業会計予算	予算額 24,623,172千円	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
令和2年度渋谷区介護保険事業会計予算	予算額 16,043,272千円	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和2年度渋谷区後期高齢者医療事業会計予算	予算額 5,907,147千円	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
特別区道路線の認定について	特別区道第1079号路線 起点 渋谷一丁目27番先 終点 渋谷一丁目26番先	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
特別区道路線の認定について	特別区道第1080号路線 起点 神宮前六丁目20番先 終点 神宮前六丁目24番先	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について	保険料の軽減に係る経費を、各区市町村の一般財源から負担金として支弁する期間の延長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区手数料条例の一部を改正する条例	建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定申請手数料の区分の追加 等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
◆渋谷区公契約条例の一部を改正する条例	労働条件を向上させるため改正	×	×	×	○	○	×	○	×	×	否決
◆渋谷区立河津さくらの里しぶや条例を廃止する条例	河津さくらの里しぶやを廃止するため	×	×	×	×	○	○	×	×	×	否決
◆渋谷区特別区税条例の一部を改正する条例	減免制度の拡充を図り区民生活を支援するため改正	×	×	×	○	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区高齢者の医療費の助成に関する条例（制定）	高齢者の医療費の負担軽減を図るため制定	×	×	×	×	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区保育料等徴収条例の一部を改正する条例	子育て世帯を支援するため改正	×	×	×	×	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	保護者の負担を軽減するため改正	×	×	×	○	○	○	○	×	×	否決
◆渋谷区幼保一元化施設条例の一部を改正する条例	子育て世帯を支援するため改正	×	×	×	×	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区奨学資金に関する条例の一部を改正する条例	子どもが進学をあきらめることがないように改正	×	×	×	○	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区学校給食費の助成に関する条例（制定）	保護者の負担軽減を図るため制定	×	×	×	○	○	○	×	×	×	否決
◆渋谷区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	心身障害者の生活の向上を図るため改正	×	×	×	×	○	×	○	×	×	否決
◆渋谷区議会会議規則の一部を改正する規則	会議の欠席に関する規定に、出産・育児の規定を整備するため	×	×	×	○	○	○	○	×	×	否決
保育園の待機児童解消と保育士の処遇改善を求める請願		×	×	×	○	○	○	○	×	×	不採択
高齢者の難聴と補聴器購入への公的支援強化を求める請願		×	×	×	○	○	○	○	×	×	不採択

※羽田空港増便による都心低空飛行計画の抜本的な見直しを国に求める請願は、委員会において継続審査となりました

報告

専決処分の報告について	環境対策型舗装工事（その2）請負契約の一部変更（契約金額の減額）に伴う専決処分（金額 △2,195,600円）
-------------	---------------------------------------------------------



今回は、第1回定例会の内容をお知らせしました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

区議会事務局調査係
TEL 3463-1096
FAX 5458-4939
メールアドレス
div-kugikai@shibuya.tokyo

